

コースの危険の告知

このPADIコースの危険については、あなたが参加するすべてのダイビング活動を網羅し、それに適用されます。対象となるダイビング活動およびコースは次の通りですが、これらに限定されるものではありません：
 アルティチュード、ボート、カバール、AWARE、ディープ、エンリッチド・エア、フォトグラフィー／ビデオグラフィー、ダイバー・プロパルジョン・ブークル、ドリフト、ドライスーツ、アイス、マルチレベル、ナイト、ピーク・パフォーマンス・ボイアンシー、サーチ&リカバリー、リブリーザー、アンダーウォーター・ナチュラリスト、ナビゲーター、レック、アドベンチャー・ダイバー、レスキュー・ダイバー、その他のディスティンクティブ・スペシャルティ（以後「プログラム」）用。

よく読んでご記入ください。

私 _____（参加者）は、私がすでに認定ダイバーであり、安全ダイビングのトレーニングを受けており、ダイビングに付随する危険性について十分に理解していることをここに確認します。

また、私は圧縮空気を使用するダイビングには一定の危険が伴うため、再圧チャンバーにおける治療を必要とする傷害が生ずる可能性があることも理解しています。

また、このプログラムは、再圧チャンバーや医療施設から遠い環境の海や湖等の水域で実施される場合があることを理解したうえで、このプログラムを受けることに同意します。

このプログラムに参加した結果として、私に関連する環境及び条件等によって、私自身に起こりうる傷害その他の損害が生じないように注意を払います。また、健康管理など細心の注意をはらって参加します。

私は、このプログラムを提供する _____（PADIメンバー）、又は _____（所在地）に所在する _____（ストア）及び PADIに対して、私がPADIメンバーの指示に従わなかったこと又は私の重大な過失によって私が被った損害については、PADIメンバーに過失が存した場合においても、その賠償責任を問わないことを約束します。

私は、この危険の告知書が単に注意書きにとどまるものではないことを理解し、またこの危険の告知書の内容のすべてを確認して署名します。私が未成年の場合は、私の親権者とともに署名します。

_____	参加者氏名	_____
_____	参加者署名	_____ 日付
_____	未成年の場合は親権者、または後見人署名	_____ 日付

PADI病歴／診断書 一コース参加者記録（重要部外秘情報）

署名する前によく読んでください。

この病歴／診断書は、ダイビングにはある程度の危険が内蔵すること、トレーニング・プログラムにはやりとげなければならぬことが告知されていることを、確認するためのものです。スクーバ・ダイビング・プログラムに参加するには、あなたの署名が必要です。

署名をする前に、この声明書をよく読んでください。スクーバ・トレーニング・プログラムに参加するには、この病歴／診断書の声明書の全項目に記入することが必要です。この声明書には病気に関する質問があります。未成年者の場合には親権者、または保護者の署名が必要になります。

ダイビングはエキサイティングなスポーツですが、同時にハードな活動でもあります。正しいテクニックを用いる限りはダイビングは比較的安全なスポーツです。

しかし、安全手順に従わないときには、危険が増す場合があります。スクーバを安全に楽しむには、極端なオーバーウェイトであったり、コンディションを軽視すべき（裏面へ）



ではありません。ダイビングはそのときのコンディションしだいでは、非常に激しい活動にもなります。呼吸器系と循環器系が健康であること、すべての体内空間に異常がなく、健康であることが必要です。冠動脈性の心臓の疾患、現在カゼをひいていたり、うっ血、てんかん、重度の医学的なトラブル、アルコールや薬物依存の傾向などがある人は、ダイビングをすべきではありません。また、ぜんそく、心臓の疾患、その他の慢性的な病状がある人、現在定期的に投薬を受けている人は、プログラムに参加する前と終了後も定期的に、医師そしてインストラクターに相談してください。さらにスクーバ・ダイビングでの呼吸、圧平衡についてはプログラムの中でインストラクターから学びます。スクーバ器材の誤った使い方は、大きな障害につながる場合があります。正式な資格をもつインストラクターの直接の指導のもとで、器材の安全な使い方のすべてを学ばなければなりません。

この病歴／診断書について質問があるときには、署名をする前にインストラクターとともにもう一度検討してください。

ダイバーに関する質問表

参加者の皆様へ:

この質問表は、リクリエーショナル・スクーバ・ダイビングに参加される前に、医師の診断を受けるべきかを判断するためのものです。あなたが以下の質問にYesと答えた場合、ダイビングをする資格がないことを意味するわけではありません。あなたのダイビング時の健康状態を阻害させる条件を判断させ、スクーバ・ダイビングに参加する前に医師からのアドバイスを必要とする場合があります。

あなたの過去と現在の健康状態に関して、以下の質問にYesまたはNoで答えてください。回答が不明の場合は、安全を期してYesと答えてください。Yesの場合には、スクーバ・ダイビングに参加する前に、医師と相談していただく必要があります。

- 現在妊娠をしている、もしくはその可能性がある
- 現在処方せんによる投薬を受けている(避妊薬を除く)
- 45歳以上の方で、以下の項目が1つ以上当てはまる

- パイプ、葉巻、タバコを喫煙している
- 高血圧である。
- コレステロール値レベルが高い。
- 食事療法で調整しているが糖尿病である
- 家族に心臓発作や脳卒中の病歴がある方がいる。
- 食事療法で調整しているが糖尿病である

以前に以下の病気にかかったことがある、または現在かかっていますか？

- 喘息(ぜんそく)、あるいは呼吸時の喘息(ぜいぜいする)、または運動時にめまいが起きる、または起きたことがあった。
- 花粉症、またはアレルギー症状の激しい発作、あるいは頻繁な発作がある。
- カゼ、副鼻腔炎、または気管支炎によくかかる。
- 何らかの肺の病気(肺炎など)がある、またはあったことがある。
- 気胸がある、またはなったことがある。
- その他の肺の病気がある、またはなったことがある。もしくは肺(胸部)の手術を受けたことがある。
- 行動上の問題、または精神的、心理的な問題がある、またはなったことがある(不安発作、閉所恐怖症、広場恐怖症など)。
- 定期的な発作、けいれんをおこす、またはそれを抑えるための薬を服用している。
- 複雑型偏頭痛を繰り返し起こす、またはそれを抑えるための薬を服用している。

ダイバーメディカル | 参加者チェックシートをしますので
こちらの項目は不要になります

- 意識喪失や、気絶したことがある。(完全、または一時的に意識を失う)
- 乗り物酔いがよくある。または乗り物酔いが激しくある。(船酔いや車酔いなど)
- 赤痢または脱水症状態で治療が必要である。
- 何らかのダイビング事故や減圧症である、またはなったことがある。
- 中等度の運動ができない。(例えば、100メートルの距離を12分以内で歩くことができない)
- 過去5年間に、意識が朦朧した状態の損傷があった。
- 高血圧症、または血圧降下剤など、血圧をコントロールする薬を服用している、または服用していた。
- 心臓疾患にかかっている、またはあったことがある。心臓発作がおこした、またはおきたことがある。
- 狭心症、心臓カテーテル手術、または動脈手術を受けたことがある。
- 副鼻腔の手術を受けている。
- 耳の病気や手術を受けたり、聴覚障害、平衡感覚障害である。
- 耳の病気を繰り返し起こす、または起こしていた。
- 出血やその他の血液障害がある、またはあった。
- ヘルニアにかかっている、またはわずらっていたことがある。
- 潰瘍、または潰瘍の外科手術を受けている。
- 大腸や回腸の人工肛門の手術を受けている。
- 過去5年間に娯楽で麻薬を使用したり、治療のために麻薬を用いた、またはアルコール依存症になったことがある。

私の病歴について、上記の情報は医師の知るかぎり間違いはありません。
私は現在あるいは過去の健康状態を明らかにしなかった場合、記載漏れの事項に関する責任を負うことに同意します。

参加者署名 _____ 日付 _____

未成年者の場合は、親権者または保護者の署名 _____ 日付 _____

PADI安全潜水標準実施要項了解声明書

注意して読んで後にご署名ください。

この声明書は、スキン・ダイビング、スクーバ・ダイビングを安全に行うために必要なことを知っていただくためのものです。これらを再確認し、了解していただくためにまとめられたものであり、ダイビングをするにあたっての快適度や安全性を増していただくために作成されています。安全なダイビングをするための習慣を理解されているという確認として、あなたの署名が必要です。署名をする前にこの声明書をよく読み、ご不明な点がある場合には担当のインストラクター、またはスタッフにお尋ねください。あなたが未成年の場合は、保護者(親権者)の署名も必要になります。

私 _____ (氏名を楷書で) は、ダイバーとして以下の事項を守るべきであることを了解しています。

- ダイビングするときは、心身共に健康を維持すること。アルコール類や危険性のある薬物を服用してダイビングしないこと。継続教育を通してダイビング・スキルを維持するようにし、久しぶりにダイビングをするときにはコントロールされた環境で復習をするようにして、コースで使用した教材を参照し、知識やスキルを忘れないようにすること。
- 自分が潜るダイビング・ポイントをよく知ること。初めて潜る場合やダイビング・ポイントの情報不足している場合は、知識豊かな現地スタッフなどから正式なオリエンテーションを受けること。経験したことのある環境よりもコンディションが悪い場合には、ダイビングを延期するか、良いコンディションのダイビング・ポイントを代替地として選ぶようにすること。自分がこれまでに受けたトレーニングや経験のレベルに合ったダイビング活動のみに参加するようにすること。専門のトレーニングを受けていない場合は、ケーブあるいはテクニカル・ダイビング活動に参加しないこと。
- よく手入れされていて、使い慣れている器材を使用する。器材はダイビング前に正しく調整し、きちんと作動するかチェックすること。スクーバ・ダイビングを行うときは、BCD、パワーインフレーター、残圧計、バックアップ空気源(オクトパスなど)、ダイブ計画/モニタリング機器(ダイブコンピューターまたはRDP/ダイブテーブルのどちらか使い方のトレーニングを受けているほう)を使用すること。認定を受けていないダイバーに自分の器材を使用させないこと。
- ブリーフィングや注意事項、その他ダイビングに関する説明や指示をよく聞いて、ダイビング活動を監督する人のアドバイスに敬意を払うこと。また、特別なダイビング活動への参加、不慣れた地域でのダイビング、6カ月以上ダイ

- ングをしていない場合などは、補足的トレーニングを受けたほうがよいことを認識すること。
- ダイビング中は、最初から最後までバディシステムを守る。水中での連絡方法や万一離れ離れになったときに再集合するための方法、緊急手順などのダイブ・プランをバディと一緒に計画すること。
- ダイブ計画(ダイブコンピューターまたはRDPの使用法)をきちんと理解すること。すべてのダイビングを減圧不要限界内で行ない、安全のために余裕を持ったダイビングを計画し、実行すること。水中で深度や時間を計るために必要な計器を携帯すること。最大深度は自分が受けたトレーニングや経験のレベルをよく考えて決定し、1分間に18メートルより遅い速度で浮上すること。S.A.F.E.ダイバーになること—Slowly Ascend From Every dive(すべてのダイビングでゆっくりと浮上)。3分間あるいは用心してさらに長く、深度5メートルで安全停止をすること。
- 正しい浮力を維持すること。ダイビング前に、BCDに空気を入れない状態で、水面で中性浮力にウエイトを調整すること。水中では中性浮力を保ち、水面移動をするときや水面で休息するときには、プラス浮力を確保すること。ウエイトベルトはいつでもすぐに外せるように装着し、ダイビング中にトラブルが起こった場合は、まずプラス浮力を確保すること。少なくとも1種類の水面シグナル器材(シグナルフロート、笛、ミラーなど)携帯すること。
- ダイビング中は正しい呼吸を維持すること。圧縮空気を吸っているときには、絶対に息ごらえやスキップ呼吸をしないこと。また、スキン・ダイビングなどの息ごらえダイビングでは、過剰なハイパーベンチレーションを避けること。水面、水中を問わず水中にいるときには動きすぎて疲れてしまわないようにし、自分の能力の限界内でダイビングをすること。
- 可能な限り、ポートやフロート(浮具)、その他の水面用ステーションを設置して使用すること。
- 各ダイビング・ポイントでの漁業規則や、ダイブ・フラッグの使用など、ダイビングに関する法律や規則やルールを守ることを。

私は、上記内容をよく読み、不明な点に対しては説明を受け、納得しました。私は、これらの実施要項の重要性と目的を理解しました。これらを守ることが私自身の安全と楽しみのために必要であることを理解し、ダイビングするにあたって、これらの実施要項を守らない場合には自分自身を危険な状況に陥らせる可能性があることを認識しています。

参加者署名 _____ 日付 _____

未成年の場合、保護者の署名(親権者あるいは後見人) _____ 日付 _____